

立憲民主党は、名古屋市議会議員 東区選挙区補欠選挙において国政直記氏を公認しました。
これは国政氏を特集した立憲民主党の党機関誌です。

立憲民主党 愛知県第1区総支部 東区市政担当部長

くにまさ 国政直記

まっとうな
名古屋市政を!



名古屋から、まっとうな政治。

国政直記氏の政策

こどもと若者には夢と希望を!!
働く人にはやりがいと安定を!!
高齢者には安心を届けたい!!



- 1 【東区】50年後を見据えた草の根のまちづくり
- 2 【子育て】だれもが安心して子育てできる名古屋
- 3 【教育】学ぶ子にこたえ、教育に本気の名古屋
- 4 【暮らし】多様性を尊重し、みんなが暮らしやすい名古屋
- 5 【改革】情報公開に抜かりのない名古屋

日本社会は危機の中にあります。

分断と排除の政治が行われ、

立憲主義が壊されています。

社会の多様性が脅かされ、

国民の大切な情報が隠蔽されています。

一握りの人たちがトップダウンで物事を決めてしまっ、

傲慢な政治が横行しています。

政治は、政治家のためでも政党のためでもなく、

国民のためにあるものです。

今の政治に怒りや危機感を持つ、

多くの国民の声に応え、

政治の流れを転換させたい。

この国に暮らす多様な一人ひとりの対話を通じて

誰もが自分らしく生きられる社会をつくりたい。

その決意をもって、私たちは、

立憲民主党を立ち上げました。

国民のみなさんの日常の暮らし、

現場のリアルな声に根ざした、

ポトムアップの政治を実現する。

それが私たちの描く、日本の未来です。

右でも左でもなく、前へ。

立憲民主党 代表
枝野 幸男

東区

50年後を見据えた 草の根のまちづくり

- 矢田や筒井の商店街で若者人材の育成・起業を支援し、表現の自由が活かされる個性的なまちづくりを推進。
- 出来町通に自転車専用レーンを整備し、快適な交通環境を実現。
- 東巡回バス(コミュニティバス)の拡充による大曾根・栄両駅へのアクセス向上で買い物難民を解消。
- 南海トラフ地震の発生に備え、筒井・葵学区などの木密地域で耐震助成を拡充。市民参加型の地域連携防災対策を支援。

子育て

だれもが安心して 子育てできる名古屋

- 「隠れ待機児童」の解消を最優先課題としつつも、「質」にこだわる保育所整備を推進。
- 大規模マンションの建設時に、事業主体に対し保育所の併設を強かに要請。
- 子育て世帯に対する相談窓口や子育てママ・パパのための居場所づくりを推進。
- 学童保育の小1の壁を乗り越えるため、時間の延長を検討。トワイライトスクールは全校実施を実現し、時間と内容を拡充。

教育

学ぶ子にこたえ、 教育に本気の名古屋

- 小学校給食の無償化。
- 私立高校への授業料補助(私学助成)を拡充し、将来的には私立高校の実質的な無償化を目指す。
- 少人数学級を推進し、いじめに対する早期発見・対応が可能な学校づくりをすすめる。
- 子どもの主権者教育を推進。現行の小学5・6年生に対する「子ども市会」を拡充するほか、中高生に対する「若者市会」の導入も推進。

暮らし

多様性を尊重し、 みんなが暮らしやすい 名古屋

- 高齢者の健康づくりを推進。65歳以上の高齢者に対する健康診断での認知機能検査を実施。
- 地域包括ケアを推進し、在宅でも24時間365日、介護と医療が受けられる安心のケアコミュニティを創出。
- 国籍、障がいの有無に関わらず生き活きと暮らせる多様性あふれるまちづくり。
- ひとり親家庭や高齢単身世帯に対する居場所づくり・繋がりづくりを推進。

改革

情報公開に 抜かりのない名古屋

- 市政に関するあらゆる情報をオープンデータとして公開。
- 市が行う全ての事業に対して外部評価を行い、市役所の仕事の「見える化」を推進。
- 議会報告会を会期ごとに開催。政策立案段階からのパブリックコメントを制度化。
- 住民票を移していない学生のための不在者投票スマホ請求制度をどこよりも早く導入。

くにまさなおき

国政直記プロフィール

- 平成元年10月12日生まれの28歳
- 名古屋大学工学部卒業
- 立憲民主党 吉田つねひこ衆議院議員秘書
- 趣味：茶道(松尾流)、空手(剛柔流)、陸上競技
- モットー：勇気ある知識人、和敬静寂
- Twitter：@Kunimasanaoki

国民との約束

立憲民主党

The Constitutional
Democratic Party of Japan

新しい心も希望。